

助成事業実施報告書

団体名 資源循環環境研究所

代表者・役職名 氏名 木村 正男



▼報告書の扱い、および記入にあたっての注意点

この報告書(精算報告書以外)は、ホームページなどで公開する予定ですので、広く読まれることを想定してご記入ください。また、編集段階で、表記・表現等を事務局で編集する場合がありますので、あらかじめご了承ください。語尾の表現は「です・ます」調をお願いします。報告書に掲載するため活動の内容がよくわかる写真(2枚程度。写真の肖像権問題がないものの提出をお願い致します)を添付して下さい。

1. 助成プロジェクト名

環境にやさしい都市八王子を目指して

2. 実施団体の概要(創設の経緯、創設時期=法人で、法人化前に任意団体での活動がある場合、その段階からご記入ください。会員数など。180文字程度まで)

八王子の恩方地区の農家の高齢化で耕作放棄地が増えてきています。またスーパーの野菜レストランの食材も科学調味料や農薬まみれの野菜が多く売られていて昔はなかった様な深刻な病気が多く発生しています。これらの農地を有効活用して安全な食材を提供できる環境を広げていく活動を行っていきます。 会員12名

3. プロジェクトの目的とその背景(※応募申請書に記載のものでも可) 250文字程度まで

八王子の農家では、地主の高齢化で後継者がいない為、耕作放棄地が多数発生しています。これらの農地では市民団体などが借り受け野菜づくりなどを行っていますが、継続性がなく長続きしないのが現状です。これらの問題を解決して魅力的なやりがいのある農業の野菜作りを目標としていきます。

4. プロジェクトの内容(※当初予定と変更がない場合は、応募申請書に記載のものでも可) 300文字程度まで

- (1)八王子の地域の活動を盛り上げる魅力的な活動を、他の市民団体などとの交流を行う。
- (2)多くの市民が参加できるやりがいと目標のある活動をめざします。料理研究会や菊芋、ヘビウリの料理レシピ
- (3)他人のまねごとではなく、他の所で行っていない斬新なアイデアで多くの人に興味をもたれる活動を行います

5. プロジェクトの実施で得られた「結果」(OUTPUT。実施回数や参加者数など)、「成果」(OUTCOME。事業によって生まれた直接的な変化)、「社会的な変化」(IMPACT。事業が社会に与えた影響)などの『効果』 300文字程度まで

去年の助成金で耕運機を購入して(オプションの草刈刃で)雑草の管理が軽減され大きな成果がありました。今までは草刈機で20~30センチの丈に伸びた頃の草刈では表面の草を刈り取っていましたが、根が残るため夏場は一ヶ月位で元の状態に戻ってしまいますが耕運機での草刈は根元から掘り起こすため草が枯れてしまいます。今年度は八王子の恩方地区の特産品お土産の販売などで地域の活性化に貢献したいと考えています。

6. プロジェクト実施にあたっての課題、今後の展望など 300文字まで

今後過去2回の真如苑の助成金の成果を再確認して多くの人の評価と意見を聞いて今後の活動を広げて行きたいと思います。今後の課題として恩方地区の農地では農作物の動物被害が深刻な課題となっています。2015年度の真如苑の助成金で猪対策の坊獣ネットの効果で猪とハクビシン等の被害は防ぐ事が出来ました。サツマイモやトウモロコシは猿の被害があり猿は坊獣ネットを乗り越えるので今後この対策の研究を行って行きます。

7. 参考資料

支援対象プロジェクトで作成したチラシ、パンフレットやマスコミで紹介された記事等は現物またはコピー、活動状況の写真などを参考資料として提供してください。

参考資料あり・特になし

2016年の真如苑の助成金で購入した耕運機



真如苑の助成金で購入した耕運機で除草作業



除 草 前 の 雑 草



真如苑の助成金で購入した耕運機で除草した雑草は根元からの除草でその後雑草が生えにくい

